

読書課題の提出について

担当：大石 玄

「法学概論」では、受講者の皆さんに自学自習として課題図書を読んでもらい、その記録として課題レポートを提出してもらいます（各回につき評価の10%として成績に反映させます）。

課題図書： 木村草太『キヨミズ准教授の法学入門』（星海社新書，2012年）

提出期限： 2016年10月25日（火）JST 12時15分 ※ 第5回目の講義日

課題図書： 濱口桂一郎『若者と労働』（中公新書ラクレ，2013年）

提出期限： 2016年12月6日（火）JST 12時15分 ※ 第10回目の講義日

なお、読書レポートをすべて提出していなければ定期試験の受験資格が認められません。

レポートの作成にあたっては、以下の要領に従うこと（違反については大きく減点します）。

記

1. 必ずワードプロセッサを用いて作成すること（手書きのものは受け付けない）。
2. 用紙は A4 のものを縦向きに用い、**横書き**で作成すること。レーザープリンターで出力するのであれば両面に印刷するのが望ましい。字体は 10.5 ポイントの明朝系フォントにすること。原稿用紙を模した枠線などは引かないこと。
3. 表紙は付けないこと。1行目にはレポートの**題名**を中央寄せ（センタリング）で、2行目には**学生番号**ならびに**氏名**を右寄せで記入すること。
4. 分量は 1,600 ～ 2,000 字程度を目安とする（少なくとも 1,200 字を超えていること）。
※ Microsoft Word であれば、[校閲] タブの中に [文字カウント] という機能があります。
5. 複数枚となった場合は、用紙の左上をステープルもしくはクリップで留めること。
6. 引用をしようとする場合には、著作権法 32 条に則って行うこと。課題図書に限っては出典を略し、ページ番号を書き添えれば足りる。引用元がウェブサイトである場合には URL を脚注として記載すること。公正な慣行に反する引用があった場合は、評価を著しく下げる。
7. 期限に遅れて提出されたものは受領しない。但し、重篤な疾病・不慮の事故・近親者の死去・災害への遭遇等、やむを得ない事情があった場合には遅延を認めることがある。なお、やむを得ない事情の存在については、原則として書面による証明を要する（詳細については相談すること）。
8. 課題図書において示されている著者の見解に賛同する必要はない。しかしながら、批判的な立場をとる場合にあっては感情的な中傷に終始することを避け、問題の所在を理性的に分析すること。
9. この課題の意図は、本を読むという体験を通じてあなたがどのような思索を巡らし、何を考えたのかを表明してもらうことにあります。本の内容を要約してもらいたいわけではありません。